

全学徒戦没者追悼・平和祈念祭で、献花する元学徒兵ら
11月18日午後、那覇市



鎮魂を願った。

元学徒兵ら約70人が集まり、

23日の「慰霊の日」を前に、

首里高の寮跡地で営まれた。

市の旧制県立第一中（現県立

悼・平和祈念祭が18日、那覇

声に耳を傾け、恒久平和を祈

念する」と悼んだ。

会は、自民党の西田昌司参

院議員が「ひめゆりの塔」に

関する展示説明を「歴史の書

き換え」とした発言に対し「軍

主催の「元全学徒の会」共

同代表の瀬名波栄喜さん(96)

は開会のあいさつで「死に直

面した亡き学友は、遺書の中

で、いま一度父母に会いたい

と訴えていた。悲痛な声なき

太平洋戦争末期の沖縄戦で

亡くなった約2千人の学徒た

ちを追悼する全学徒戦没者追

悼

戦後80年

沖縄戦の学徒2000人追悼

那覇 平和と鎮魂願う

国教育の恐ろしさを体感した

学徒として容認できない」と

して「歴史的暴言」と批判す

る「平和宣言」を発表した。

宣言を読み上げた元鉄血勳

皇隊の与座章健さん(96)は、

取材に「何であんなばかな戦

争をしたのか。二度とやって

はいけない」と語気を強めた。

沖縄戦当時、県立農林学校

3年で卒業直前に徴兵された

渡口彦信さん(98)は「学友が

国策で命を失った。上官の命

令は朕(天皇)の命令で、絶

対だった」と話した。

【問1】 6月23日は、何の日なのでしょう。

【問2】 太平洋戦争末期の沖縄戦で亡くな
った学徒たちは、約何人だったのでしょうか。

【問3】 与座章健さんの発言を書き写しま
しょう。

「

【問4】 渡口彦信さんの発言を書き写しま
しょう。

「

【考えてみよう】 身近な地域で戦争を経験
した方々に話を聞いてみよう。

むずかしい漢字とことば

亡(な)くなる 追

悼(ついとう)＝死んだ人を悼(いた)み、悲しむこ
と 那覇(なは) 寮(りょう) 跡地(あとち)
慰霊(いれい)＝死んだ人の霊を慰(なぐさ)める
こと 鎮魂(ちんこん)＝死んだ人の魂(たまし
い)を鎮(しず)め、なぐさめること 主催(しゅさい)
＝催(もよお)しを行うこと 遺書(いしょ)＝死
ぬ前に家族や親しい人へ残したメッセージ 訴
(うった)え 悲痛(ひつう)＝心が痛み悲しいこと
傾(かたむ)け 恒久(こうきゅう)＝いつまでも変
わらないこと 祈念(きねん)＝願い事を祈(い
の)り念(ね)じること 塔(とう) 展示(てんじ) 換
(か)え 恐(おそ)ろしい 容認(ようにん)＝受
け入れ認(みと)めること 批判(ひはん) 宣言
(せんげん) 勤皇(きんのう) 徴兵(ちょうへ
い)＝国民の義務として兵役につくこと 国策＝
国の決めた政策 朕(ちん)